食と農のわくわく SDGs 学習推進事業

1. 令和 8 年度充当額　　3,074 千円

2. 事業の趣旨・目的

本市の強みである食と農を活かして、主に小学校高学年から専門学校・大学を対象とした食と農に関する探究的な学習を推進し、本市の豊かな食や農への理解を深め、地域への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、本市の農業や食品産業を支える人材づくりにつなげる。

3. 令和 8 年度計画内容

・食や農の専門家紹介

食と農に関する専門家として大学教授や食農関連企業などの人材を実施校に外部講師として紹介し、講師謝礼を支援することで子どもたちの学びを支える。

・学習に係る交通費、アグリパーク宿泊費の支援

学習の場を広げるため、地域で 6 次産業化やスマート農業などに取り組む農家や、流通、小売などへの交通費及びアグリパーク宿泊費を支援する。

・学習環境の整備

アグリパーク等にスマート農業機器を導入し、子どもたちが見学できるように整備することで、新たな農業技術の理解を促進させる。

・令和 9 年度実施校の募集

令和 8 年度実施校の学びを充実させるよう働きかけるとともに、令和 5 年度～令和 7 年度の実践事例集を活用して令和 9 年度実施校の募集を行い、学校からの意欲的な実施申請の増加につなげる。

・米粉製粉機の活用

令和 5 年度に新潟市アグリパーク食品加工支援センターに導入した微細粉の米粉製粉機について、実施校の学習をはじめ、学校教育田での収穫米の製粉などに活用する。併せて、食品加工支援センターが実施する農家向け講座でのメニューづくりや関係機関への周知を通して、6 次産業化の進展に寄与する。

・事業者と実施校間のネットワーク構築

これまで学習に協力していただいた事業者と実施校によるネットワークの構築を図り、学習の充実や新たな取り組みの提案につなげる。